

## 明るさ増すカナダ経済

### 輸出、大幅に好転の見込み

国際景気の回復が進むにつれ、カナダ経済の見通しも明るさを増してきた。

まず、モントリオール銀行発行のビジネス・レビュー最近号によると、カナダの主要輸出市場における今年の国民総生産は約六パーセント成長する見込みで、それとともに、カナダでは原油輸出の政策的三割カットにもかかわらず、四パーセントの輸出増が期待できる。明年の八パーセント減と比べると、かなりの好転といえよう。また金額でも、同銀行では昨年のわずかに二パーセントから今年は十三パーセントへと大きく伸びるものと見ている。

一方、カナダ政府大蔵省は、このほど下院に提出した報告書の中で、世界の経済状況の好転に合わせて生産を増加する潜在力をカナダ経済は強く保有している、と述べている。報告によると、多くの企業が生産性の低下にもかかわらずレイオフを避け、従業員を温存してきたため、世界景気の回復とともにすぐにこれらの熟練労働者を活用できる状態にある、という。

## さらに便利になる日加間空の旅

### CP、日航とも週四往復に増便

モントリオール・オリンピックと夏の観光シーズンを控え、カナダ太平洋航空(CP Air)と日本航空は今年の四月から十月まで、それぞれ週三便から週四便へ増便する。

これは日加民間航空交渉で決まったもので、四月二十五日以来、CPのボーイング七四七が毎週火曜日、水曜日、金曜日、日曜日に東京からバンクーバーへ向かい、火水木土にバンクーバーを発つこ

どになっている。日航のバンクーバー向け東京発は月水金日の各日、バンクーバー発は火木土日。

## ペンフィールド博士が死去

### 世界的な脳神経外科医

カナダの国際的な脳神経外科医ウィルター・ペンフィールド博士が、四月五日、モントリオールで死去した。八五才。ペンフィールド博士は、モントリオール神経病研究所(一九三二年創立)の創立者の一人で、一九六〇年に引退するまで長く同研究所の理事をしていた。その後マクギル大学の総長となり、医学教育と著作に余生を送った。

博士の主な業績としては、てんかんの原因をつきとめ、手術によって治療できるようにしたこと、人間の動作器官と知覚を制御する脳の部分を解明し、また人間の脳には他の動物にはない、二つの発声器があるということを発見した、ことなどが上げられる。博士は、医学の進歩に貢献したとして、各国からいろいろな賞を受けている。

## プラスチックのスポンジで人工肺

### 将来は人体移植が可能に

ラバル病院(ケベック州)のドビエール・モラン研究部長は、このほど、将来は人体に永久的に移植が可能になるという、画期的な人工肺を開発し、注目されている。

この人工肺は約二・五平方センチの四面体で、毛細管の入ったプラスチック。と呼ばれるプラスチック・スポンジでできており、気体と血液を分離するほか、両方の混合分量を正確に吸入・吸出するという。モラン部長が率いる研究班は、

この人工肺をこれまで二カ年近く実験してきたが、今後は約十八カ月間、羊を使って実験したあと、人体に試みることになっている。人体の場合、血液の凝結などいろいろむづかしい問題もあるが、成功すれば病気や産業界などで肺を除去した人にとって大きな救いになる。

## カナダ映画にオスカー賞

### 三浦雄二郎氏の「エベレスト大滑降」

カナダのクローリー・フィルム社が世界的スキーヤーの三浦雄二郎氏をテーマに製作したドキュメンタリー「エベレスト大滑降」が一九七六年度オスカー賞(外国長篇ドキュメンタリー部門)を受賞した。これは三浦氏の決死的な滑降を、同氏の人生観などをおりませながら記録風にまとめたもので、これまでカナダおよび米国各地で上映されたほか、英国ではBBC放送がテレビ放映している。

## シロップ作りであけるケベックの春

ケベックを中心とするカナダの北東部では、雪とけとともにカエデの樹液を集めてシロップ作りが始まる。樹皮に切り込みを入れておくと、甘い液が下の缶やバケツにたまる。それを四十八時間以内に集めてろ化し、煮詰める水あめのようなシロップになる。ヨーロッパから探検家たちがカナダに渡ってくる前から、原住民のインディアンたちがすでにやっていたという、春先の風物詩だ。



## ◆大使館案内◆

### オリンピック・コイン企画庁

カナダ政府は、七月にモントリオールで開催される第二十一回オリンピック大会を記念し、さらにその資金の一部をまかなうため、記念貨幣を発行、大会に参加する世界各国で発売している。七シリーズ二十八種(五ドル貨十四種、十ドル貨十四種)の記念銀貨のうち、六次(二十四種)まではすでに発行済みで、最終シリーズ(モントリオール大会記念版)の四種も六月中旬までには発売される予定。

銀貨に加えてこのほど百ドル記念金貨(写真)も発行された。十四金と二十二金の二種類で、いずれも片面にエリザベス女王の肖像、別面に古代アテネの女神と競技者が描かれている。

このオリンピック記念コイン販売計画を推進しているのがオリンピック・コイン企画庁。東京事務所は、東京都港区六本木三二二二二エルサビル(電話四七八二二九五二)。コインは全国の主なデパート、貴金属店、コイン店で販売されている。

各国で販売されるコインの収益金のうち、三パーセントはオリンピック大会への選手派遣費の一部になるよう、それぞれのオリンピック委員会に寄附されている。日本には、これまでに総計約一億円が贈られた。

なお、記念銀貨のうち、第六次銀貨は日本の福田繁雄氏がデザインした。

表紙の写真 カナダ連邦議会議員団の来日に合わせて、四月、国会図書館内で「カナダ議会展——歴史の記念碑」が開かれた。写真は、議事堂本堂の模型を囲んで、左からシエローム下院議長、ラボウンテ上院議長、プロロドベント新民主党党首(下院議員)、前尾衆院議長、ランキン駐日カナダ大使、佐々木日加議員連盟会長。(ジャパン・タイムス撮影)